

令和8年度 シラバス 【歴史総合】

1 1 新潟県立新潟翠江高等学校（通信制課程）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
必修	2	6	2	2
教科書			学習書・その他教材	
歴史総合（東京書籍）			問いからはじまる 歴史総合 （東京法令出版）	

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①生涯にわたって自ら意欲的に学び続け、目標に向かって努力する態度を育成します。 ②互いの人権や考えを尊重し、命を大切にする心と行動力を育成します。 ③社会的・職業的自立に必要な勤労観や職業観を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う～ ①多様な生徒の学習歴や興味・関心に合わせた科目選択ができる教育課程を編成します。 ②思考力・判断力・表現力の獲得を目指した、学びを充実させる丁寧な面接指導（スクーリング）を行います。 ③生徒が自学自習しやすい報告課題（レポート）を作成し、生徒の学びを深める丁寧な添削指導を行います。 ④放送視聴や平日校外スクーリングなど、通信制の特徴を活かした多様な学び方を促します。 ⑤コミュニケーション能力の伸長を図るため、生徒交流会や運動会、体験学習等の特別活動を行います。

学習目標

世界と日本の歴史を関連付けながら理解し、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて課題を考察する活動を通して主体的に生きようとする態度を養い、民主的な社会を支える公民としての資質・能力を次のように育成することを目指す。

- (1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、近現代の歴史を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 近現代の歴史の変化に関わる事象について、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- (3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学習内容

前期試験範囲	(1) 序章	1 節：歴史と私たち、2 節：歴史の特質と資料	
	第1章	1 節：近代化への問い、2 節：アジアの繁栄と西洋近代の形成	(第1回レポート)
	(2) 第1章	3 節：世界の一体化と多様な近代化	
		4 節：近代化と現代的な諸課題	(第2回レポート)
後期試験範囲	(3) 第2章	1 節：国際秩序の変化や大衆化への問い	
		2 節：第一次世界大戦と大衆社会	(第3回レポート)
	(4) 第2章	3 節：経済危機と第二次世界大戦	
		4 節：国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	(第4回レポート)
	(5) 第3章	1 節：グローバル化への問い	
		2 節：冷戦と世界経済	(第5回レポート)
	(6) 第3章	3 節：世界秩序の変容と日本	
		4 節：現代的な諸課題の形成と展望	(第6回レポート)

学習方法

< 報告課題（レポート） >

教科書・学習書（資料集）をよく読むと解答できる設問になっています。問題文が次のページにまたがっている場合もあります。また、本文だけではなく、欄外や資料集からも出題するので、丁寧によく読んで理解し、解答してください。

＜面接授業（スクーリング）＞ スクーリングでは、各回のレポート締め切り日に近い回のレポートを解説します。義務時数（２時間）の確保だけで終わることなく、積極的に出席してください。 ＜試 験＞ 試験には、前期・後期それぞれのレポートの学習内容を確認する問題を出題します。

評価の観点の趣旨		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
資料を適切かつ効果的に活用する技能や概念的な理解に基づく知識を獲得している。	歴史的事象を多面的・多角的に考察し、各自が判断しながら表現している。	各自が粘り強く学習に取り組み、次の学びに向けての課題を見出そうとしている。

評価方法		
各観点における評価方法は次のとおりです。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・定期試験の分析 ・レポートの内容の分析 などから、評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A：十分に満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

担当者からの一言
問題文をよく読み、教科書・学習書（資料集）を丁寧に調べるのが大切です。問題文を読み取るのに時間がかかると思いますが、あせらず粘り強くレポート作成に取り組んでください。NHK 高校講座を視聴すると、より歴史を理解することができます。ぜひ、活用してください。